

令和6年度藤枝市地域防災訓練の実施結果について

(危機管理センター)

1 概要・目的

南海トラフ沿いで大規模地震が発生したことを想定して、自主防災会や避難所運営委員会が中心となり、地域の特性に応じた実践的な訓練を実施し、防災関係機関との連携強化を図るとともに、地域防災体制の強化及び家庭内の防災対策を再確認することで市民の防災意識の高揚を図る。

- (1) 訓練実施日 令和6年12月1日(日) 午前9時00分 地震発生
(2) 訓練実施場所 岡部中学校 ほか

2 岡部中学校会場

- (1) 訓練内容 ※ () は協力団体

①避難所開設訓練

- ・住民と避難所担当者による指定避難所の安全確認訓練
- ・模擬避難者を想定した指定避難所受け入れ訓練

②自衛隊との連携訓練(自衛隊)

- ・自衛隊車両による指定避難所への物資搬入・炊き出し訓練

③被災者健康支援訓練(藤枝歯科医師会、県看護協会)

- ・保健師・歯科医師・看護師による在宅避難者への健康確認・指導、支援物資の配給

④ドローン飛行訓練

- ・物資輸送用ドローンの説明・展示、撮影用ドローン飛行訓練

⑤防災学習

- ・角材や毛布を使用した搬送方法の講習(志太消防本部)
- ・三角巾を使用した応急手当の講習(県看護協会)

⑥防災展示

- ・電気自動車や防災資機材の展示(トヨタモビリティパーツ㈱)
- ・水消火器・煙体験ハウスの体験(市消防団)
- ・防災ベッドの展示、ペット同行避難を想定した資機材の展示

- (2) 参加者 約400名(住民、自衛隊、関係事業所、市職員、志太消防本部、消防団 ほか)

(3) 参加者からの声

- ・避難所の受付を担当したが、実際は多くの人があると想定されるのでしっかり準備したい。
- ・自宅に避難していても、物資が届けられたり、医師や看護師が来てくれれば安心する。
- ・物資を運ぶときに中学生が参加してくれた。重たい物を運ぶのは大変なので助かった。
- ・物資輸送用ドローンが思ったより大きくて驚いた。



▲在宅避難者に口腔ケアグッズを手渡す歯科医師



▲物資輸送用ドローンを説明するパイロット